



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） ヴィラット クリストフ  
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画室長（氏名） 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442  
 半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月10日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	62,182	△17.9	1,758	△53.4	2,329	△38.4	1,382	△45.2
2023年12月期中間期	75,770	20.4	3,777	236.9	3,783	134.4	2,521	99.1

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 3,821百万円(1.0%) 2023年12月期中間期 3,782百万円(4.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	14.37	—
2023年12月期中間期	26.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	127,223	68,037	52.9
2023年12月期	129,417	64,730	49.5

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 67,239百万円 2023年12月期 64,038百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2024年12月期	—	6.50			
2024年12月期(予想)			—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	△16.4	4,700	△36.7	5,700	△29.9	4,300	△45.1	44.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	96,363,161株	2023年12月期	96,334,226株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	181,340株	2023年12月期	180,942株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	96,161,426株	2023年12月期中間期	96,130,698株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
(個別業績の概要)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、円安ともなうコスト負担の高まりや人件費の増加が企業収益の重荷となったことや、物価上昇による個人消費の低迷などから、景気は足踏み状態が続きました。米国では、株高による資産効果で個人消費は底堅く推移しましたが、製造業の事業活動が低下したほか、設備投資は減速しており、景気拡大ペースは鈍化傾向で推移しました。アセアンでは、マレーシアは消費や半導体など IT 関連輸出が景気回復のけん引役となり堅調に推移しましたが、インドネシアは高金利により耐久財消費が弱く、新車販売が振るわず内需の勢いにかげりがみられました。タイは外需主導の景気回復が続いた一方で、家計の債務比率の高止まりから自動車ローンの利用が減少し自動車販売は低迷しました。

このような環境のもと、当中間連結会計期間における自動車生産台数は、当社主力の日本国内は車両認証問題の影響などから前年同期比で減少となりました。アセアンにおいても、マレーシアの生産回復があったものの、タイとインドネシアでの自動車生産台数が減少したことからアセアン全体の自動車生産台数は前年同期比で減少となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間では、ミラー事業売却の影響を除いた業績は、日本国内およびアセアンともに市場比で減少率は小幅に留まったものの、得意先の車両認証不正問題による生産・出荷停止の影響が長引いたことなどから、売上高は62,182百万円(前年同期比17.9%減)となり、インフレや円安による原材料費増に対応すべく販売価格への転嫁に努めたものの、減収による利益の減少影響などから、営業利益は1,758百万円(前年同期比53.4%減)、経常利益は2,329百万円(前年同期比38.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,382百万円(前年同期比45.2%減)となり、減収減益の結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、ミラー事業売却の影響を除いた業績は、日本国内ならびにアセアンともに市場比で減少率は小幅に留まったものの、得意先の車両認証不正問題による生産・出荷停止の影響が長引いたことなどから、売上高は57,983百万円(前年同期比19.3%減)となり、インフレや円安による原材料費増に対応すべく販売価格への転嫁に努めたものの、減収による利益の減少影響などから、営業利益は1,580百万円(前年同期比56.4%減)となりました。

## ② 用品事業

用品事業におきましては、ディーラーオプション品の売上が好調に推移したことやインフレに対応した値上げの効果などから、売上高は5,002百万円(前年同期比5.1%増)となり、増収による利益率の改善や経費削減効果などから営業利益は206百万円(前年同期比23.5%増)と増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は127,223百万円となり、前連結会計年度末比で2,193百万円の減少となりました。固定資産が全体で1,783百万円増加したものの、流動資産が全体で3,976百万円減少したことによるものであります。

流動資産の減少は、現金及び預金が908百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3,787百万円、短期貸付金が1,802百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産の増加は、有形固定資産が791百万円、無形固定資産が18百万円、それぞれ減少したものの、持分法適用会社への投資簿価の増加を主因として、投資その他の資産が全体で2,593百万円増加したことなどによるものであります。

負債は59,186百万円となり、前連結会計年度末比で5,499百万円の減少となりました。固定負債は全体で372百万円とほぼ横ばいで推移したものの、支払手形及び買掛金が1,114百万円、電子記録債務が2,035百万円、その他流動負債が2,615百万円、それぞれ減少したことなどを主因として流動負債が全体で5,872百万円減少したことによるものであります。

純資産は68,037百万円となり、前連結会計年度末比で3,306百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する中間純利益の計上が1,382百万円あることや、為替変動による影響を主因としてその他の包括利益が全体で2,333百万円増加したことなどによるものであります。

(百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)	増減
資産の部			
流動資産	67,337	63,360	△3,976
固定資産			
有形固定資産	39,701	38,909	△791
無形固定資産	123	104	△18
投資その他の資産	22,255	24,849	2,593
固定資産合計	62,079	63,863	1,783
資産合計	129,417	127,223	△2,193
負債及び純資産の部			
流動負債	53,910	48,038	△5,872
固定負債	10,775	11,148	372
負債合計	64,686	59,186	△5,499
純資産	64,730	68,037	3,306
負債純資産合計	129,417	127,223	△2,193

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は2,108百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益2,081百万円、減価償却費2,667百万円、売上債権の減少額4,276百万円、賞与引当金の増加1,499百万円等であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額3,717百万円、その他流動負債の減少額2,245百万円等であります。

投資活動の結果獲得した資金は496百万円となりました。有形固定資産の取得による支出が1,650百万円があるものの、それを上回る短期貸付金の回収が1,987百万円生じたことによるものであります。

財務活動の結果支出した資金は2,074百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出920百万円、配当金の支払額528百万円、短期借入金の返済による支出350百万円あること等によるものであります。

キャッシュ・フローの前年同期との比較は以下の通りです。

(百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,766	2,108	△658
投資活動によるキャッシュ・フロー	54	496	442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,145	△2,074	70
現金及び現金同等物に係る換算差額	411	378	△33
現金及び現金同等物の増減額	1,087	908	△179
現金及び現金同等物の期首残高	8,631	8,937	305
現金及び現金同等物の期末残高	9,718	9,845	126

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、日本国内では認証問題による自動車メーカーの工場稼働停止の長期化や、円安や原料高騰によるインフレの進行、日銀の金融緩和政策の転換による景気への影響など、自動車生産の市場動向は予断を許さない状況が続いております。下半期に関しては、子会社PIAAの売却に伴う売上高、利益の減少および売却益計上の影響があるものの、価格転嫁および合理化を推進し、上半期比で利益の回復を見込んでおります。

以上を踏まえ、通期の業績予想を記載の通り変更いたします。

なお、期末配当予想につきましては、変更はございません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	129,000	6,700	7,500	5,000	52.01
今回修正予想 (B)	122,000	4,700	5,700	4,300	44.71
増減額 (B-A)	△7,000	△2,000	△1,800	△700	
増減率 (%)	△5.4	△29.9	△24.0	△14.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	145,897	7,422	8,130	7,838	81.53

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報ならびに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、さまざまな要因により異なる結果となる可能性がありますのでご承知おきください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,937	9,845
受取手形及び売掛金	24,401	20,613
電子記録債権	379	197
商品及び製品	4,172	4,013
仕掛品	782	1,255
原材料及び貯蔵品	4,427	4,265
短期貸付金	21,648	19,846
その他	2,671	3,377
貸倒引当金	△82	△54
流動資産合計	67,337	63,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,803	10,558
機械装置及び運搬具(純額)	17,337	17,164
工具、器具及び備品(純額)	2,271	2,616
土地	2,302	2,522
リース資産(純額)	3,383	3,291
建設仮勘定	3,602	2,754
有形固定資産合計	39,701	38,909
無形固定資産		
その他	123	104
無形固定資産合計	123	104
投資その他の資産		
投資有価証券	2,958	3,824
長期貸付金	737	811
繰延税金資産	4,804	4,727
その他	13,757	15,488
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	22,255	24,849
固定資産合計	62,079	63,863
資産合計	129,417	127,223

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,724	14,610
電子記録債務	16,956	14,920
短期借入金	1,150	800
1年内返済予定の長期借入金	920	—
リース債務	640	663
未払法人税等	1,376	349
未払費用	5,480	5,958
賞与引当金	910	2,421
役員賞与引当金	25	58
製品保証引当金	1,764	1,908
その他	8,961	6,346
流動負債合計	53,910	48,038
固定負債		
リース債務	3,257	3,089
退職給付に係る負債	7,296	7,535
資産除去債務	26	26
その他	195	496
固定負債合計	10,775	11,148
負債合計	64,686	59,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,996	9,003
資本剰余金	2,515	2,523
利益剰余金	51,536	52,390
自己株式	△55	△56
株主資本合計	62,993	63,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	137
為替換算調整勘定	2,014	4,195
退職給付に係る調整累計額	△1,058	△954
その他の包括利益累計額合計	1,044	3,378
非支配株主持分	692	797
純資産合計	64,730	68,037
負債純資産合計	129,417	127,223



## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	75,770	62,182
売上原価	61,192	51,292
売上総利益	14,578	10,889
販売費及び一般管理費	10,800	9,130
営業利益	3,777	1,758
営業外収益		
受取利息	101	80
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	235	927
その他	16	5
営業外収益合計	359	1,019
営業外費用		
支払利息	56	68
支払手数料	3	3
為替差損	249	351
その他	44	26
営業外費用合計	353	448
経常利益	3,783	2,329
特別利益		
固定資産処分益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産処分損	280	42
事業構造改善費用	198	205
特別損失合計	478	248
税金等調整前中間純利益	3,310	2,081
法人税等	756	665
中間純利益	2,553	1,415
非支配株主に帰属する中間純利益	32	33
親会社株主に帰属する中間純利益	2,521	1,382

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	2,553	1,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	47
為替換算調整勘定	553	709
退職給付に係る調整額	71	104
持分法適用会社に対する持分相当額	598	1,544
その他の包括利益合計	1,228	2,405
中間包括利益	3,782	3,821
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,723	3,716
非支配株主に係る中間包括利益	58	105

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,310	2,081
減価償却費	3,148	2,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,147	1,499
製品保証引当金の増減額(△は減少)	74	140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	260
受取利息及び受取配当金	△107	△86
支払利息	56	68
持分法による投資損益(△は益)	△235	△927
固定資産除売却損益(△は益)	274	42
売上債権の増減額(△は増加)	1,265	4,276
棚卸資産の増減額(△は増加)	112	10
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,762	△3,717
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,681	△2,245
その他	△557	△461
小計	3,086	3,607
利息及び配当金の受取額	112	86
利息の支払額	△45	△52
法人税等の支払額	△387	△1,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,766	2,108
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,946	△1,650
有形固定資産の売却による収入	5	6
無形固定資産の取得による支出	△14	△7
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
短期貸付金の純増減額(△は増加)	2,547	1,987
その他	468	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	54	496
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400	△350
長期借入金の返済による支出	△1,106	△920
リース債務の返済による支出	△206	△275
配当金の支払額	△432	△528
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,145	△2,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	411	378
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,087	908
現金及び現金同等物の期首残高	8,631	8,937
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,718	9,845

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	52,064	3,538	55,602
海外	19,767	400	20,168
顧客との契約から生じる収益	71,831	3,938	75,770
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	71,831	3,938	75,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	819	820
計	71,832	4,758	76,590
セグメント利益	3,623	167	3,790

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,790
セグメント間取引消去	△12
中間連結損益計算書の営業利益	3,777

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	40,335	3,892	44,228
海外	17,648	305	17,953
顧客との契約から生じる収益	57,983	4,198	62,182
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	57,983	4,198	62,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	803	803
計	57,983	5,002	62,985
セグメント利益	1,580	206	1,787

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,787
セグメント間取引消去	△28
中間連結損益計算書の営業利益	1,758

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(個別業績の概要)

## 1. 2024年12月期中間の個別業績

## (1) 個別経営成績

(%表示は対前年半年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	42,286	△20.9	638	△69.6	547	△73.5	255	△77.2
2023年6月期	53,448	20.2	2,101	—	2,062	245.0	1,120	139.5

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	86,783	45,367	52.3	471.68
2023年12月期	92,284	45,626	49.4	474.52

(参考) 自己資本 2024年6月期 45,367百万円 2023年12月期 45,626百万円